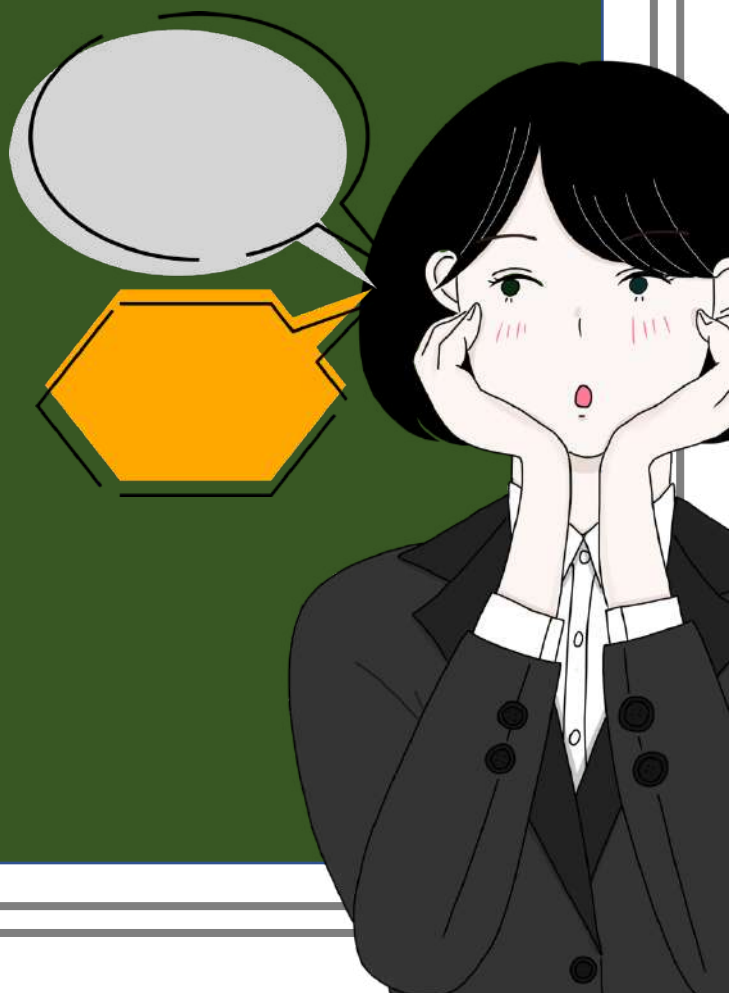


内定者の声

令和4年度入省予定 環境省総合職理工系内定者一同

- 内定者プロフィール
- 公務員試験対策
- 官庁訪問体験記



はじめに

「内定者の声」を手にとっていただき、ありがとうございます。
本書は未来の仕事仲間たる皆さんの不安や疑問を解消するために、内定者の私たちが作成したものです。第1部では「内定者はどのような人か」、第2部では「公務員試験をどのように乗り切ったか」、第3部では「官庁訪問はどうだったか」について記載しています。
ぜひご参考にしてください！

2021年12月 環境省総合職理工系内定者一同

本冊子の構成

はじめに

第1部 内定者を知ろう！（P.2 ～P.21）

- 内定者の基本データ（学科/専攻、性別、就活スケジュールなど）
- 志望動機
- 環境省を志望される方へのメッセージ など

第2部 公務員試験を知ろう！（P.22～P.43）

- 内定者の公務員試験基本データ（試験区分、席次など）
- 勉強量について
- 勉強内容・試験内容について

第3部 官庁訪問を知ろう！（P.44 ～P.57）

- 環境省の官庁訪問について
- 内定者の官庁訪問基本データ（併願先など）
- 官庁訪問参加者による座談会

おわりに



※ 環境省 Web サイトでも公開しております。
(http://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_q2/from_pe/)

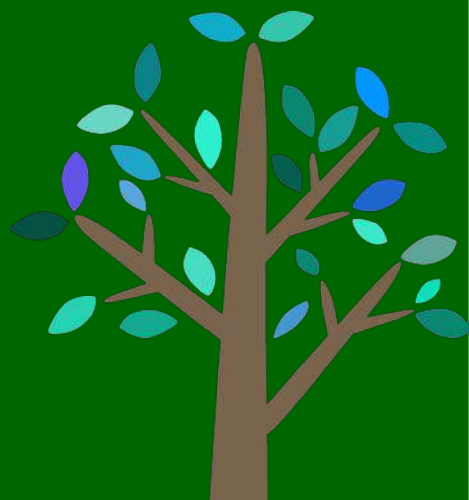
《注意》

令和3年度の官庁訪問は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、リモートによる説明会・面接等が実施され、例年とは大きく異なるものとなりましたのでご注意ください。最新の情報については人事院国家公務員試験採用情報NAVI (<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>) でご確認ください。

1. 内定者を知ろう！

志望理由は？

何人くらいいるの？



第1部．内定者を知ろう！

令和4年度入省予定の総合職理工系内定者は、全9名となりました。
(※うち1名は令和3年10月入省)

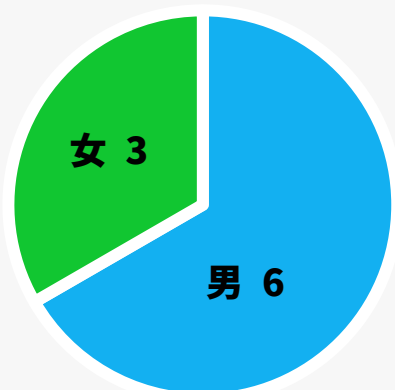
第1部では、まず今年の内定者の内訳を過去5年間（平成30年度から令和4年度まで）のデータと併せて概説したのち、内定者各人のプロフィールを掲載しています。また、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者のペンネームを使用しています。あらかじめご了承ください。



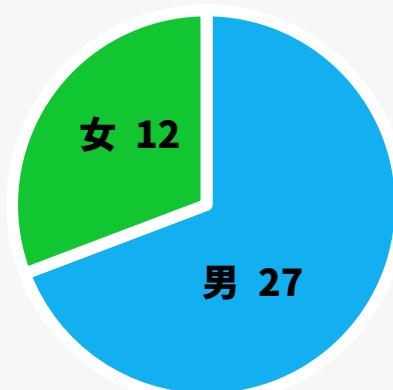
■ 内定者の基本データ

■ 男女比

令和4年度入省内定者

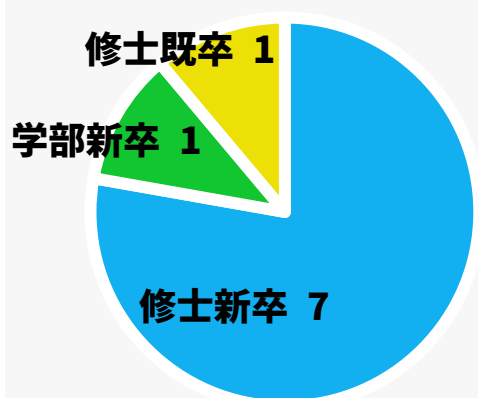


過去5年間

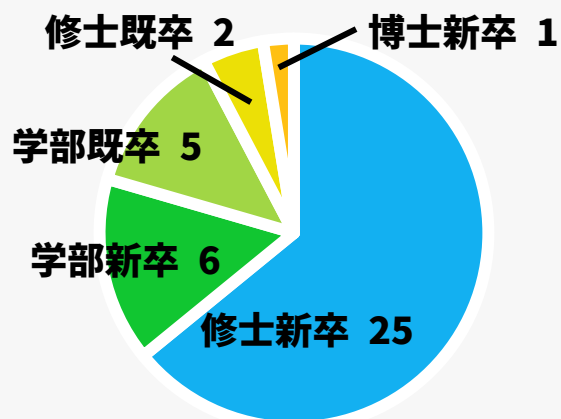


■ 最終学歴

令和4年度入省内定者



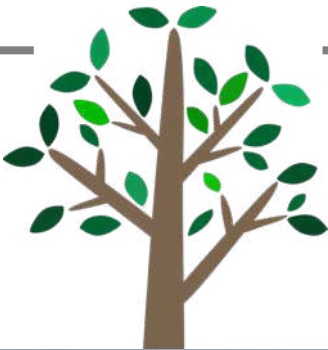
過去5年間



次のページからは総合職理工系内定者9名一人一人を紹介していきます。
趣味や研究内容から、環境省を目指した理由まで詳しく載せているので、ぜひ参考に見てみてください！

Go to the next page...





No.1 桃太郎（25・男）

■ 基本情報 Profile

試験区分	数理科学・物理・地球科学
大学所在地	岡山県
学部（研究科）	自然科学研究科
学科（専攻）	地球科学専攻
研究内容	秋季北極海における海氷- 雲フィードバックの考察
出身地	大阪府
部活動・サークル	天文部
趣味	料理・テニス
特技	水泳
好きなもの	お酒



帯広で雪の観測。
1週間ほど大量の雪と
格闘してきました。

■ 就活事情

併願先（民間）	地球科学の研究開発など
併願先（他省庁等）	気象庁・海上保安庁
インターン先	なし

大学3年

大学4年

大学院1年

大学院2年

- 6月 学内講座で公務員試験の勉強を始める
- 7月 国家公務員一般職・専門職（労基B）試験に最終合格するも、総合職試験は不合格
大学院に進学することを決める
- 6月 総合職官庁訪問で気象庁に訪問するも、採用されず
- 8月 **総合職試験に最終合格**
- 4月 いくつかの民間、省庁の業務説明会に参加し、環境省への志望動機が高まる
民間の面接を3つほど受けるが、内定貰えず
- 6月 **官庁訪問→環境省内々定**



就活関連の思い出写真が
特になかったので、代わりに
好きなお酒の写真。
（インターン等もっと行けば
良かったと思ってます）

環境省を志望した理由

環境を軸にしつつも、幅広い視野を持って仕事ができることに魅力を感じ、環境省を志望しました。

小さい頃から自然が好きで、中学の授業で気象学に興味を持ったことをきっかけに、大学では気象・気候学を学びました。3年生に進級後は、すぐに研究室に配属されて研究を開始しました。4年生の時点では、研究が単純に楽しかったのも、仕事も自然に関わり、専門的な技術を必要とする職（気象庁、研究開発職など）に就きたいと思っており、研究によりさらに専門知識を深めたいと考え、大学院へ進学しました。しかしながら、大学院に進学後は、上回生として後輩が研究室で快適に過ごせるよう、周りを見ながら常に試行錯誤していたことがきっかけで、仕事でも幅広い視野が必要とされることがしたい、と考えが変わりました。特に、環境問題は自然と直結していて、その理解には理系的な知識が必要であり、かつ、その解決には大局的な視点を持って、様々な立場の人たちと協力していかなければならない、という点に魅力を感じました。



就活エピソード

成功談



他省庁、民間の説明会や面接に参加したことで、就活における視野が広がりました。興味の幅は広く持つようにしていました。

失敗談



民間の面接は全て落ちました。面接官の反応を見て、自分の話がどう捉えられているか分析して、次に活かすことができていませんでした。

環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

就活は自分を見つめ直す絶好の機会です。自身の価値観を知り、本当にやりたい仕事を見つけてください。

環境省では、説明会や座談会等で職員とお話してできる機会が数多くあるので、是非参加してみ、感じたことを就活の参考にしてください。もし、そういった場などを通して、環境省での仕事に魅力を感じたら、官庁訪問ではその率直な想いをぶつけてもらえればと思います！

皆様が、心から納得できる仕事に出会えることを祈っています。

料理は社会人になってからもできる
限りしたい！





No.2 将棋（24・男）

■ 基本情報 Profile

試験区分	工学
大学所在地	千葉県
学部（研究科）	新領域創成科学研究科
学科（専攻）	環境システム学専攻
研究内容	洪水における個人の適応行動を 動機づける要因及び構造の分析
出身地	千葉県
部活動・サークル	ダンス
趣味	旅行・読書・映画
特技	将棋
好きなもの	自由時間、犬と猫



富士山山頂からの
日の出の瞬間！
忘れられません…

■ 就活事情

併願先（民間）	ソーシャルビジネス
併願先（他省庁等）	経済産業省
インターン先	NPO、建設系コンサル

大学2年	9月 環境省サマートライアルに参加
大学3年	6月 環境NPO団体で約8ヶ月のインターン 2月 大学院試験勉強開始
大学4年	4月 公務員試験不合格 （※来年以降に向けた予行演習） 8月 大学院試験合格 2月 卒業研究後、公務員試験勉強開始
大学院1年	8月 公務員試験合格
大学院2年	6月 春期官庁訪問にて、環境省内々定



フルマラソン走りました！
練習では10キロまでしか走って
いなかったのに、後半が不安
だったけど、なんとか完走で
きました笑

環境省を志望した理由

私が幼い頃に地球温暖化に関するテレビ番組を見て、家族とその問題について話しているときに、私と家族で環境問題への危機感にギャップがあると感じたことが環境問題に興味を持つきっかけになりました。環境問題は全ての生態系に世界規模で、かつ、社会的弱者や将来世代により深刻な影響を与えます。私はこの深刻な問題を無視して生きていくことはできないと思いました。

環境省を志望した理由は、世界規模の環境問題（気候変動など）の解決に向けては、国または世界全体での取り組みが最重要と考えるからです。地域単位での具体的な取り組みはもちろん重要ですが、環境問題は社会システムを変革しなければ根本的な解決は望めないと感じています。日本や世界全体でどのように取り組んでいくべきかを、行政だからこそ可能な制度設計や多様なステークホルダーとの協働を通じて考えていきたいと思いました。



就活エピソード

成功談



自分が関心を持つ社会課題や取り組み方、それを実現できる環境を、学生の早い段階から明確にできたことだと思います。

失敗談

成功談の裏返しになりますが、早い段階から志望先を絞って、他の様々な可能性やインターンに行く機会を排除してしまったことです。



環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

「なぜ環境省で働きたいのか」を改めて考えると同時に、皆さんが人生で叶えたい事や目標、それを実現できる環境はどこなのか、自分自身と向き合うことが大切だと思います。

環境省で働くことは一つの手段であって、それが全てではありません。色々な可能性を検討することも重要かと思います。公務員試験の勉強も大変です。それでも、やっぱり環境省に行きたい！と思うのであれば、是非チャレンジしてください。皆さんとご一緒できることを楽しみにしています。

旅行が好きです！
写真は石垣島の
川平湾にいた猫を
撮ってます～





No.3 ぱんだ（25・女）

基本情報 Profile

試験区分	工学
大学所在地	京都府
学部（研究科）	工学研究科
学科（専攻）	都市環境工学専攻
研究内容	プラスチック焼却とダイオキシン類生成に関する研究
出身地	京都府
部活動・サークル	学園祭事務局
趣味	散歩・お笑いの動画を観ること
特技	イラストを描くこと
好きなもの	にぼしラーメン・晴れの日



空を見上げるのが好きです。この前プードルみたいな雲を見つけました。（イラストは自作）

就活事情

併願先（民間）	環境コンサル・建設コンサル
併願先（他省庁等）	なし
インターン先	プラントメーカー・環境コンサル



プラスチックの焼却に関する研究をしています。写真は実際にプラスチック試料を燃やしているところです。

大学3年

9月 環境系プラントメーカーのインターンに参加

大学4年 大学院1年

9月 大学の課外学習で環境省を初訪問
職員の方の話を聞き環境省を視野に定める

7月 **総合職試験（大卒）合格**

8月 建設コンサルタントのインターンに参加

1月 環境省のインターンに参加が決まるも、
コロナの影響で中止に…

大学院2年

大学の同期が就活を次々に終わらせるなか、
内定が一つもなくメンタルがやられる…

5月 環境コンサルから内定をいただく

6月 **官庁訪問 内々定（環境省）**
総合職試験（院卒）合格

環境省を志望した理由

私は環境と人の幸福は密接に関係していると思っています。幼少期から、悩み事があったときに近くの公園にいて木陰で深呼吸をして気分を切り替えてきた経験があり、身近な自然環境を大事に思う気持ちがあります。一方で、小学3年生のときに、よく遊んでいた裏山にごみがポイ捨てされているのを見てショックを受け、人の手によって自然環境は簡単に崩されてしまうのではないかと危機感を持ち続けてきました。そのため進路選択を考える段階で、将来は環境を守るという形で人の役に立ちたいと考えました。

環境問題解決の技術的なアプローチを学ぶために、大学では環境工学を専攻しましたが、講義や実験のなかで環境・衛生問題の多様性を認識し、経済面や政策面を考慮したより包括的なアプローチが必要だと考えるようになりました。また就職活動を通じて環境系メーカーや、コンサルタントといった企業の方、環境省の職員の方など様々な立場の方とお話をするなかで利害関係が複雑な環境問題に正面から取り組むことが出来るのは、環境省だと考え志望しました。



就活エピソード

成功談



何故環境省なのか、何故環境問題に携わりたいのか、ということを官庁訪問前日まで考え、思考を整理し続けました。自分の思いをうまく伝えることができたと思います。

失敗談



他省庁は志望せずに環境省！本で公務員就活を行いました。勉強のためにももう少し他省庁の説明会に参加すればよかったなあ…と思っています。

環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

官僚という少しイメージを持ちづらいかもしれませんが、これを読んで私が何を考え、悩んできたかが少しでも伝われば嬉しいです。

私のときはほとんどの説明会がオンライン開催でしたが、皆さんの就活で対面のイベントに参加する機会があれば、職員の方だけでなく他の就活生ともぜひお話をしてみてください。同世代が環境問題に対してどのような考えをもっているのかが分かる貴重な機会だと思います。

公務員就活は民間就活よりも終了時期が遅いので取り残されたように感じてしまうかもしれませんが、あまり周りのことは気にせず自分のペースで頑張ってください。いつか皆さんとお会いできる日を楽しみにしています！

ミニチュア集めが好きです！





No.4 すま (25・女)

基本情報

Profile

試験区分	数理科学・物理・地球科学
大学所在地	東京都
学部（研究科）	理学系研究科
学科（専攻）	物理学専攻
研究内容	陽電子ビームを集束する研究
出身地	新潟県
部活動・サークル	空手・狩猟
趣味	歌うこと♪
特技	クレー射撃（うまくはない）
好きなもの	ラーメン



マッターホルンとわたし

就活事情

併願先（民間）	なし
併願先（他省庁等）	警察庁・農水省
インターン先	なし

大学院1年

博士課程に行くつもりでした。
夏には、同じ研究グループでCERNで
講義を受けたり、研究を行ったりしました。

大学院2年

3月 コロナによるフランスの国境閉鎖の噂で、同期
や先輩がみんな帰国してきました。
6-8月 環境省受験を思い立ち公務員試験を受
験、
1次試験と事前面談会に合格するも、
（この年は事前面談会という省庁別の面接が2次
試験の前にありました）
2次で不合格に（勉強不足でした!!!!）

3月 修士課程卒業

6月 公務員試験を再受験し、合格

7月 官庁訪問 → 内々定



この前チームラボに行って
きれいさに感動しました

環境省を志望した理由

小さいころから、自然と触れる経験が多かったこともあり環境問題に関心がありました。小学生の時に「今「地球」が危ない」という衝撃的な本を読んでからは、関心は危機感や使命感に変わり、塾や学校の冷房を勝手に消したり、設定温度を上げたりするような子供になっていました。

大学の学部で地球温暖化による気候変動をテーマとする研究室に入ったものの、研究では地球温暖化による気候変動やそれに伴う災害の増加の予測などに詳しくなる一方、世間を変えるのは難しいと感じ、焦燥感を覚えました。一旦好きなことをしようと、院では専攻を変え素粒子実験分野に進み反物質の研究をしていました。周りがほとんど博士課程まで行くことから、博士まで行こうと考えていました。

しかし、やはり災害の増加を身近に実感し危機感を感じたこと、環境省の存在を知ったことから、小さいころよりもっていた環境問題に関わりたいという思いが強まり、修士2年の春に思いついてすぐ公務員試験に申し込みました。

環境省の名前は聞いたことがあるのに、なぜ今まで行こうと考えなかったのだろう？絶対にここで働きたい、と環境省の存在を知ってからは一途でした。（2回目の受験時は念のためほかの省庁にも申し込みましたが、第一志望は揺るぎませんでした。）



就活エピソード

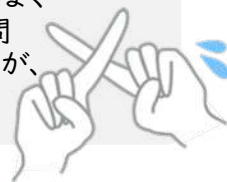
成功談



数理科学・物理・地球科学系で受験しましたが、地球科学は知識問題が多く（一問に費やす時間が少なく）易しめなので、過去問を見て多少勉強していたことで、選択問題では助けられました。

失敗談

ディスカッションは練習していたので本番の政策討論ではうまくいった自信があり、官庁訪問でもそれをアピールしましたが、普通にC評価でした。



環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

公務員試験は、1次試験に、2次試験に、官庁訪問…と、民間に比べても非常にキツイ就職試験だと思います。

わたしは、無職になって試験勉強しているときや官庁訪問中、取ったホテルでその日の結果の連絡を待つときなど、とてもつらかったです。

どれだけ採用に関われるかわからないですが、若手座談会などではなるべく就活生のみなさんの助けになるように頑張りたいと思います。みなさんも、大変だとおもいますが頑張ってください！

オタクです♪





No.5 うめ (23・女)

基本情報 Profile

試験区分	化学・生物・薬学
大学所在地	東京都
学部（研究科）	医歯学総合研究科
学科（専攻）	医歯理工保健学専攻
研究内容	赤血球のコレステロール代謝への関与
出身地	神奈川県
部活動・サークル	ジャズ研、ワンゲル
趣味	バイオリン、旅行
特技	採血できます
好きなもの	猫、梅干し



大学2年時に観光で訪れたカンボジアの朝焼け
国内も海外も旅行は好きです

就活事情

併願先（民間）	無し
併願先（他省庁等）	国税庁、科学警察研究所 （気持ちは環境省単願でしたが、折角の機会と思い、併願しました）
インターン先	無し

大学3年

大学4年

大学院1年

大学院2年

臨床検査技師として病院で働こうと考える（特に就活はせず）

検査技師のキャリアとして、研究基盤を作るために院進を決める

7月 就職について考え始め
公務員に興味を持つ
（きっかけは科捜研から）

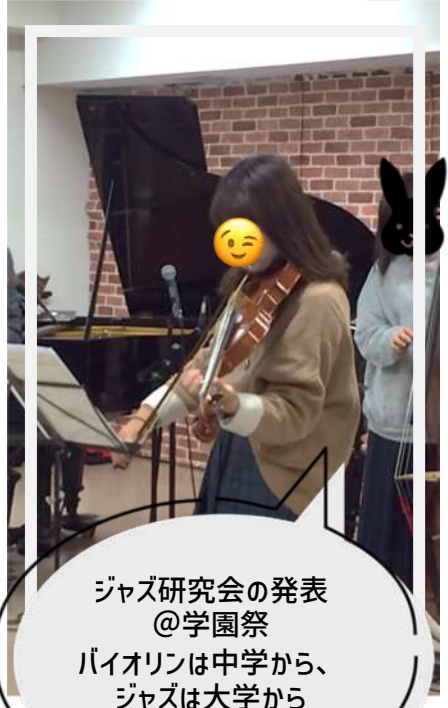
10月 環境省のOB訪問に行く

11月- 環境省含め省庁のオンライン説明会に参加し始める

何度も参加するうちに業務内容に惹かれ環境省を第一志望に決める

6月 国家総合職試験合格

7月 官庁訪問 環境省で内々定を頂く



ジャズ研究会の発表
@学園祭
バイオリンは中学から、
ジャズは大学から
始めました

環境省を志望した理由

元々環境問題に関して漠然とした関心はありましたが、人と関わる仕事がしたい、また医学や保健学を学び、人の健康に寄与したいという思いから大学は医療の道へと進み、環境問題に対してはアクションを起こしてきませんでした。しかし院に進学してから始めた学童のアルバイトで子どもたちの環境問題に対する危機感が高まっていることを知り、一刻も早く対策を進めることで、その先の数十年後に良い影響をもたらすことができると思い、自分の仕事として環境問題に取り組みたいと強く思うようになりました。

また、学部時代に訪れたカンボジアで日本との経済格差やインフラ整備が不十分であることを目の当たりにしました。世界が一体となって解決する必要がある気候変動問題においては、途上国支援が重要であるとの思いから、環境省では国の規模で国際協力に携われる点に魅力を感じました。

さらに環境問題は、気候変動による熱中症や新興感染症の発生など人の健康とも密接に関わっていると考えています。環境問題の解決を使命とする環境省だからこそ、今後取り組むことができる対策があると感じており、その中で自身のバックグラウンドを生かし、行政の面から人の健康を守りたいと思っています。



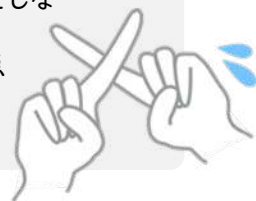
就活エピソード

成功談



何度も環境省の説明会に参加したことで、業務内容の理解を深めることができ、自然と携わりたい業務が見えてきました。（それが志望動機にも繋がりました）

失敗談



公務員一択で民間就活をしなかったのですが、民間も見た上で公務員の良い点を挙げられるとさらに良かったと思います。

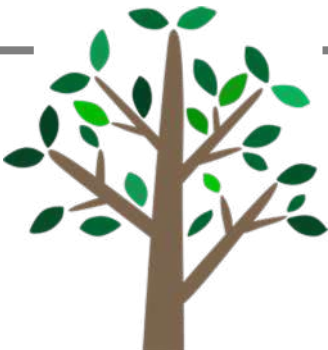
環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

どうして環境省なのか、環境省で達成したいことは何か、就活中はこれらを考えることに尽きると思います。他省庁や民間などの説明会にも参加し多くの選択肢を見て、自分に合う仕事は何かをたくさん考え、自分の将来を想像してみてください。

私は医学部保健衛生学科を卒業し、大学では環境に関する学問は一切学んできていません。このように、もしバックグラウンドが環境に関連していないとしても環境省に惹かれている方がいるのなら、その理由がどこかにあるはずで、それを具体化しアピールできれば、職員の方に届くと思います。私はバックグラウンドの違いを個性と捉えており、保健学を学んできたからこそ環境省で活かせることがあると考えています。就活中は将来が見えず不安になることもあるとは思いますが、様々な話を聞いて、自分を見つめ直す貴重な時間と考え、前向きになれると思います。これを読む皆さまが納得のいく結果が得られるように願っております。

最近手に入れた古い一眼で愛猫の写真を撮りました
いつも癒されます





No.6 みんな（23・男）

基本情報 Profile

試験区分	工学
大学所在地	宮城県
学部（研究科）	工学部
学科（専攻）	機械知能航空工学科
研究内容	地域におけるエネルギーシステムのデザイン
出身地	長野県
部活動・サークル	環境系学生団体
趣味	旅、サイクリング
特技	料理
好きなもの	餃子、飲み会



愛車と桜、日本の四季、美しい自然を守りたいですね

就活事情

併願先（民間）	シンクタンク、独立行政法人
併願先（他省庁等）	経産省、国交省
インターン先	経産省、金融機関

大学2年

大学3年

大学4年

6月

9月

10月

2月

4月

5月

6月

7月

環境系長期インターン参加

経産省インターン参加
金融機関インターン参加

公務員試験の勉強開始

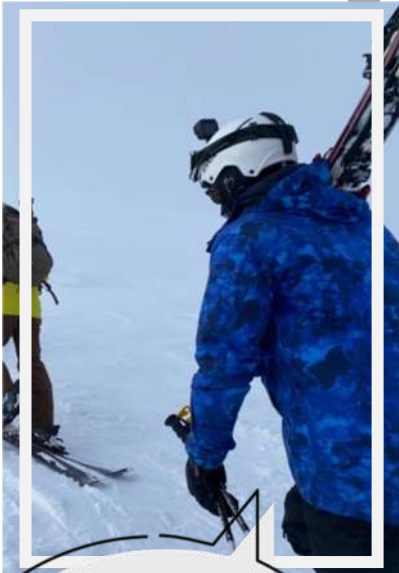
民間、省庁の説明会に参加

公務員1次試験

公務員2次試験
環境省説明会参加

国家総合職試験合格

官庁訪問→内々定



冬は雪山に登ります！
気候変動を実感する
きっかけにもなりました。

環境省を志望した理由

小学校から高校までスキーをしている中で、スキー場の雪不足、海外遠征での氷河の減少など肌感覚で感じ、気候変動に危機感を抱いていました。

大学2年次に経産省と合同でイベントを開催したり、COP25に参加する中で環境省の職員の方と関わることも多く漠然と省庁のことについて考えていました。

大学3年次に省庁のインターンに参加して、考えるスケールの大きさや広さに圧倒され、官僚を目指すことを決意しました。大学ではエネルギー関係のことについて学んでおり、エネルギー、気候変動に関わりながら社会を変革できるという点で経産省と環境省で志望を迷っていました。

一方で、旅をする中で魅力的な街や壮大な自然に出会うとともに、疲弊した町なども見てきました。自然という壮大な資源を抱えている地方が活気づくためにも、環境というアプローチから解決できることもあると考え、環境省の志望が次第に強くなりました。

最終的には、職員の人柄や、美しい自然を守りたいという志で環境省に入省することを決めました。



就活エピソード

成功談



自己分析を徹底的に行ったので、ぶれない軸を持つことができました。試験も余裕をもって対策を講じていたので本番でも緊張せず取り組みました。

失敗談



学部で就活をしていたので、仲間がいなかったのがきつかったです。民間就活も全滅していたので最後までメンタルはボロボロでした。

環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

就活は人生の目的を決めること！

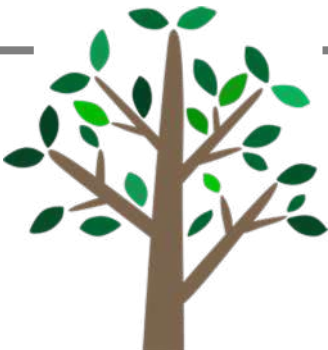
自分の人生において大切にしたいことがそのまま就活の軸になります。

メメントモリ「死を想え」ということわざがあります。自分が死ぬときにどういう生き方をしたいのか、どういう風に他人から覚えられていたいのか。これらを突き詰めたときに軸として表れてくると思います。

もしその軸に環境や自然というキーワードが出てきたらぜひ環境省の職員と話してみてください。あなたの世界が広がるきっかけになるかもしれません。

人生ってどれだけ感動できる景色に出会えたかですよね!?

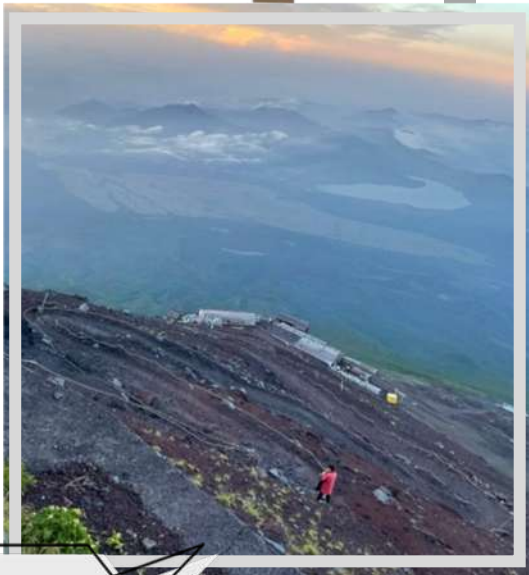




No.7 尺八（23・男）

■ 基本情報 Profile

試験区分	化学・生物・薬学
大学所在地	東京都
学部（研究科）	農学府
学科（専攻）	農学専攻
研究内容	六価クロムの環境中動態
出身地	東京都
部活動・サークル	少林寺拳法部
趣味	アニメをみること
特技	尺八
好きなもの	ホットカーペット



赤くちょこんと写っているのが私です。富士山に登って尺八を吹いて、下手なくせに悦に浸っています。

■ 就活事情

併願先（民間）	環境コンサル・廃棄物処理事業者
併願先（他省庁等）	原子力規制庁
インターン先	なし

大学3年	10月 公務員試験勉強を開始
大学4年	5月 公務員試験を受験するも不合格
大学院1年	5月 公務員試験にリベンジし、合格 7月 環境省サマートライアルに参加 2月 就活開始。民間や省庁の説明会に参加
大学院2年	4月 民間数社から内定をいただく 5月 公務員試験の院卒程度を受験するも不合格 6月 官庁訪問に参加 環境省から内々定をいただく



SUPというレジャーを体験した時の写真です。基本的にはインドア派な私ですが、自然も好きです。

環境省を志望した理由

私は子供のころから環境問題の解決に貢献できる仕事をしたいと考えていました。小学生のころ、地球温暖化についてテレビで知ったり、大量のごみが漂着した海岸を見学したりし、そうした経験がきっかけで環境問題に関心を抱くようになりました。そして、「風の谷のナウシカ」という漫画を読み、自然と人間の共存の道ヘリダーシップをとる主人公の姿に憧れたことがきっかけで、実際の環境問題の解決に貢献できる仕事がしたいと考えるようになりました。その気持ちが残っており今に至ります。

環境コンサルや廃棄物処理事業者といった民間企業の就活も行っていましたが、最終的には環境省への志望度が最も高くなりました。環境問題を解決するためには、あらゆる国・地域やあらゆる主体の連携が必要であり、それらを牽引する立場として環境省のはたらきが重要であると感じたためです。



就活エピソード

成功談



就活の軸を「環境」としっかり定めていたので、どの企業でも志望動機などは話しやすかったです。

失敗談

環境に限らず、色々な企業のインターンや説明会に参加すればよかったなと思っています。就活でしかできない貴重な経験なので。



環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

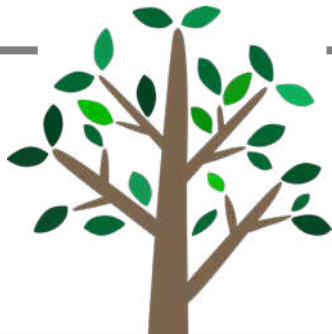
自分の軸をしっかり持つことが大事かなと思います！

志望動機や自分の強み弱みなんかを説得力をもって話すには、自分の軸を明確にすることが必要ではないかと思います。

軸というと曖昧ですが、具体的にはこれまでの経験で培った考え方やモットーとかかなと思います。自分の軸を見つめなおすことで、自ずと自分のやりたいことやその理由、自分の強み弱みなんかが見えてきて、よりよいマッチングにつながるのではないかと思います。

最近、海岸漂着ごみを見学する機会があったときに撮った写真です。東南アジア由来のプラスチックも多いです。





No.8 みみみ（23・男）

■ 基本情報 Profile

試験区分	工学
大学所在地	愛知県
学部（研究科）	工学研究科
学科（専攻）	土木工学専攻
研究内容	座屈強度の向上を目的とした 位相最適化についての研究
出身地	愛知県
部活動・サークル	テニスサークル
趣味	テニス、自転車
特技	タイピング（ちょっとだけ）
好きなもの	ゲーム、二度寝、青空



大学のテニスコートです！
中・高・大の青春と思い出
は常にテニスと共にありまし
た。友達とテニスをしている
時間が何よりも好きです！

■ 就活事情

併願先（民間）	電力会社など
併願先（他省庁等）	経済産業省
インターン先	電力会社、国交省、愛知県

- 大学入学
- 大学4年
- 大学院1年
- 大学院2年

両親の影響で漠然と公務員を思い描く

4月 大学で総合職試験を勧められ、国家公務員の存在を知る（1次合格後、2次試験はTOEICと被ったため辞退）

8月 **総合職試験（大卒）合格（コロナで後ろ倒し）**

9月 県庁、国交省のインターンに参加
真剣に進路を考え始め民間と公務員で迷う

12月 経産省のイベントで国家公務員を第一志望に決める
採用担当の経歴から環境省について知る

1-5月 民間インターンと民間就活に加え、経産省環境省のイベントにできる限り参加する

6月 **官庁訪問にて環境省から内々定を頂く
総合職試験（院卒）合格**



テニスは大好きです！
でもゲームも好きです。

環境省を志望した理由

私はスケールの大きいことをしたいという思いで、大学では土木を専攻しました。そして、大きな影響力を持ち、社会を根本から支えているエネルギーに関わることで、日本をより良く変えていきたいと思うようになりました。当初は電力会社を志望していましたが、エネルギーは他国との関係や各種法規制など一企業では手の届かない問題も多く、より根幹の部分に関わるために国家公務員を志望するようになりました。

省庁の中では、環境省の他に経産省も考えていて、官庁訪問期間を含め最後まで悩みました。しかし官庁訪問を通して、今後の日本の発展にはエネルギーと環境の間にあるトレードオフ関係を解消することが必須であり、これからの最重要事項になると感じました。そしてこの問題の解決のためには環境問題への視点を中心にエネルギーに取り組む必要があると考え、環境省への入省を決めました。

国交省や地方公務員を考えた時期もあり悩むことの多かった就活でしたが、その分多くの視点から物事を見ることができました。この経験は必ずこれからの仕事や人生の支えになってくれると思っています。



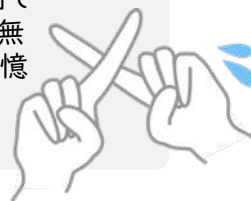
就活エピソード

成功談



説明会などをきっかけに仲良くなった人と、官庁訪問前に共に励ましたり対策し合いました。内々定後、その仲間たちからの祝福が一番嬉しかったです。

失敗談



併願していた省の官庁訪問では原課訪問で取ったメモを無くしてしまい、面接の時に記憶で話したらボロボロでした。整理整頓大事!!

環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

霞が関の仕事は入る前も入った後も大変な世界なのかもしれません。それでも、それを考えても、余り有るだけのものがここには有ると思っています。

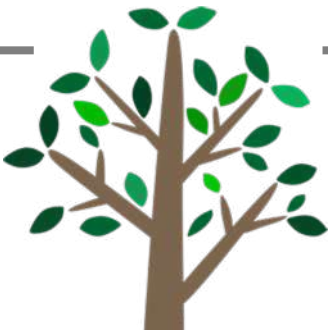
省庁による細かな違いはあれど、私達の仕事は、“日本”を作ることです。自分も、友人も、そのまた友人も、道を歩いている知らない人すらも含めたすべての人が、私達が作る日本の上で生活するんです。凄いですよね!

これを読んでいる人は、多少なりとも霞が関の省庁に興味があって、何か日本に対しての課題意識を持って下さっている方だと思います。就職活動はとてもつらく、楽な方に逃げたくなるかもしれません。でも、日本の経済、環境、教育…あなたが変えずに誰が変えるんですか? そんな意気込みを持って是非私達に手を貸して下さい!

友達と自転車で琵琶湖を一周したときの写真です! 空が、青い、...



一緒に日本をより良くしていきましょう。
もし環境省で会えたら嬉しいです。



No.9 くろかん（25・男）

基本情報 Profile

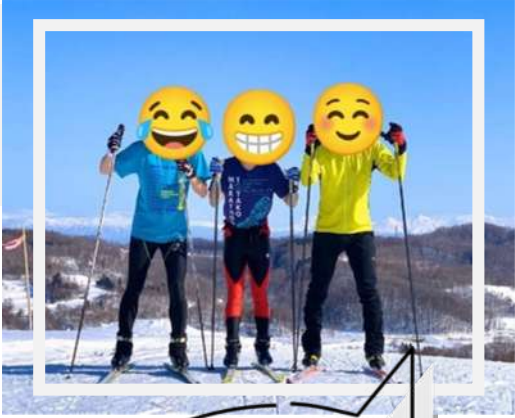
試験区分	化学・生物・薬学
大学所在地	北海道
学部（研究科）	生命科学院
学科（専攻）	生命科学専攻
研究内容	遷移金属触媒を用いた 不斉C－H活性化反応の開発
出身地	埼玉県
部活動・サークル	競技スキー部
趣味	登山
特技	スキー
好きなもの	沖縄料理



登山が趣味です。
大雪山国立公園に
は何度も足を運びま
した。北海道の雄
大な自然が大好き
です！

就活事情

併願先（民間）	独立行政法人
併願先（他省庁等）	経済産業省
インターン先	なし



学部生ではクロスカントリースキーに熱
中しました。体力の要る過酷な競
技ではありますが、ゴールした瞬間の
達成感は何物にも代えがたいです！
写真は最後の練習の時に同期3人
で撮りました。

大学3年

大学4年

大学院1年

大学院2年

研究と部活（将来については何も考えず）

研究と部活（漠然と化学メーカーの研究職に就くのかなと考える）

9-3月 国家公務員や民間企業の説明会・インターンに幅広く参加

1月 環境省（自然環境局）の2週間インターンに申し込むも緊急事態宣言で中止

5月 エネルギー系の独法から内々定を頂く

6月 **国家公務員総合職試験に最終合格**
官庁訪問の第1、2クールは経済産業省
→環境省の順で訪問

7月 第3クール以降は志望度が逆転し、環境省のみを訪問
環境省から内々定を頂く

環境省を志望した理由

小学生の頃に見た沖縄のサンゴ礁の白化現象、大学生で感じた北海道の雪不足。地球温暖化は動植物に影響を与えるだけでなく、私たちの生活にも大きく影響をもたらすことを実感しております。この温暖化を少しでも食い止めることで、豊かな自然や文明的な生活が担保された社会を実現したいと強く思うようになりました。

当初は環境負荷の低減を指向した触媒反応の開発を行いたいと思い、有機化学の研究の道に進む予定でした。しかし自らの研究を進めていくうちに、基礎研究を進めるだけでは直接的な地球温暖化の解決には程遠いのではないかと考えるようになりました。そこで私は研究者としてではなく、研究で得られた科学技術を円滑に社会実装に繋げられるような政策の立案に携わることで、課題解決に貢献したいと考えました。

環境省の官庁訪問では、職員の方たちの環境問題への熱い思いや風通しの良い雰囲気には惹かれました。併願先の経済産業省と最後まで迷いましたが、面接の中で私自身の「素」を出せたことが最終的な決め手となり、環境省から内定を頂くことが出来ました。



就活エピソード

成功談



独立行政法人を併願したことです。面接の練習にもなりますし、内々定を頂けたことで自信を持って官庁訪問に臨むことが出来ました。

失敗談

緊張すると早口になる癖を直せなかったことです。官庁訪問でも職員の方からご指摘を頂くことができました。



環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

就職活動は辛いことも多いですが、自分自身と向き合える貴重な機会だと思います。一度きりの人生ですから、「自分の本当にやりたいこと」を納得いくまで探してみてください。

そして自分の人生について大いに考え抜くことが、進路を決める際の自信にも繋がると思います。私自身も大学で学んだ専門を生かして企業の研究職に就くべきなのは、と悩んだ時期もありましたが、今では自分らしい就活を進めることが出来たと自信を持っています。

これを読んでくださった皆さんもぜひ納得のいく進路を見つけてください。応援しています。

沖縄の海も大好きです！
いつかスキューバダイビングに
挑戦したいです。

